



配布したバッジ

子ども・議会体験プログラム



こちらの2次元コードから、当日のようすが動画でご覧いただけます。(議会情報番組「withゆう市議会」へ)

出退表示板のランプをつけて登庁



昨年につき、市内の公立小学校の5・6年生を対象に「子ども・議会体験プログラム」が7月23日(木)に行われ、23名の小学生が市議会議員になり市議会を体験しました。夏休み中にもかかわらず、市政に興味・関心を持った次代を担う子どもたちが集まり、委員会室で行う常任委員会と議場で行う本会議を体験しました。



正副議長室で記念撮影

まずは、市議会の仕組みを学びます。その後、議長や常任委員長を決めました。委員会と本会議が始まる前に、議長室、事務局、議員控室、図書室、本会議場を見学しました。



市議会の役割などの説明を受ける



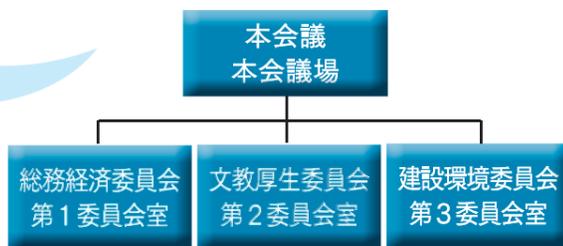
←発言は、議長の許可を得てから



賛成の意思表示は起立で



子ども議会では、実際の議会でも審議した「安全で快適な学校生活の予算」、「乳幼児医療費支給条例の一部改正」、「ポイ捨てに関する条例」の3議案を各委員会で審議しました。本会議では、各委員長が審議結果の委員長報告を行ったほか、議案へ賛成討論も行いました。



子ども議員、保護者、市議会議員がそろって笑顔で「ハイ、ポーズ！」

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。



入曽駅前整備、一歩ずつ進めましょう!

西塚 和音 (創造)



◆1日でも早い入曽駅前整備の展望を

- ①市長が地権者に会う予定は。
 - ②沿道整備街路事業を含め、どんな手法があるのか。
- 市長** ①地権者、地域住民の理解と協力が必要であり、市の方針が決定次第、早い時期に話し合いの機会を持ちたい。



入曽駅前はどう変わるか?

その他のテーマ

- ▶入曽駅前整備の事業の進め方
- ▶市内企業への支援策

都市建設部長 ②区画整理、再開発事業などの市街地整備事業のほかに、用地買収方式による整備手法がある。沿道整備街路事業は、都市計画道路を整備する手法だが、周辺に都市計画道路の計画がなく権利関係の調整が難しいこと、また近くに移転希望者が活用できる学校跡地もあることから、なじまない。

◆公共施設に市内企業の商品展示を

市長室前にもカタログを置くなどの工夫を。**環境経済部長** 産業労働センターをはじめ、市内6施設で工業製品、食料製品の展示を行っている。カタログを市長室前に置くことは、企業の意向を確認し、また展示スペースのあり方も検討したい。



寄附の文化の醸成でまちを明るく人を幸せに

矢馳 一郎 (創造)



◆新たな事業資金の調達手段

インターネットを通じて事業への寄附や協力を募るクラウド・ファンディングが注目を集め、地方創生に向けて、資金調達的手段として採用する自治体も見られるが市の見解は。**総合政策部長** 同様の方法は、ふるさと納税制度が一般的と考えている。これまで納税の返礼品は送っていないが、寄附の増額だけでなく、市内

生產品などを返礼品にすると、シティプロモーションの効果も期待されるので、条件整備を進めたい。事業へのクラウド・ファンディングの活用は、今後研究していく。

◆予想される大地震に備えて

ふだん食べるレトルト食品などを多めに購入しておき、定期的に食べて、食べた分を買っていきローリングストック法は、首都直下地震や南海トラフ地震を想定すると大変有効な備蓄法だと考えるが市の見解は。**市民部長** 地震などで直接的な被害がなくても、流通が滞り支援物資が届かないことが予想される。比較的手軽で有効な備蓄方法なので、引き続き防災講座などで普及啓発を行っていく。



地震火災に有効な感震ブレーカー